



ワークショップ
気候市民会議の多様な開催を考える・その2

2023.12.22

大阪大学 中之島センター

本日の趣旨について

- タイトルの通り「気候市民会議の多様な開催を考える」ことです。
- 主催
 - ✓大阪大学COデザインセンター
 - ✓きんき環境館
- 共催
 - ✓公共圏における科学技術・教育研究拠点（STiPS）
 - ✓大阪大学社会技術共創研究センター（ELSIセンター）
 - ✓近畿地方環境事務所

前回（9/1）のプログラム

- 1330～1340 趣旨説明と開催の挨拶
 - ✓大阪大学 八木絵香
 - ✓環境省 近畿地方環境事務所
- 1340～1355 話題提供（1） 気候市民会議とは何か
 - ✓北海道大学 高等教育推進機構 三上直之さん
- 1355～1420 話題提供（2） 気候市民会議さっぽろ2020の事例について
 - ✓札幌市環境局 環境都市推進部 環境政策課 佐竹輝洋さん
- 1420～1445 話題提供（3） あつぎ気候市民会議の事例について
 - ✓あつぎ気候市民会議 実行委員会遠藤睦子さん
- 1445～1515 話題提供者による鼎談と、フロアとの質疑応答
———休憩———
- 1530～1720 気候市民会議の多様な開催を考えるワークショップ
- 1720～1730 閉会



ワークショップの中で出てきた 2つの方向性

① 本格実施：

- ✓ 本格的な気候市民会議を関西圏でも実施したい。
- ✓ 具体化するための方法について話し合いたい。
- ✓ 加えて、市民の声を政策に反映させる方法について考えたい。

② ライトな実施 or 本格実施にむけた機運を醸成したい

- ✓ すぐに、気候市民会議までは難しくとも、もっと地域で脱炭素社会に向けた取り組みを考える機会を作りたい
- ✓ 自分たちの職場やコミュニティで、できることを考えたい。
- ✓ そのための具体的な方法について知りたい。



- 第二弾となる今回のワークショップでは主に、**②の方向**（ライトな実施 or 本格実施にむけた機運を醸成したい）に焦点をあて、企画

本日のスケジュール

- 1330～1335 開催の挨拶（環境省 福嶋）
- 1335～1345 趣旨説明（大阪大 八木）
- 1345～1355 気候市民会議とは？を改めて（名古屋大 三上）
- 1355～1400 この後の進行について（大阪大 八木）

- 1400～1545 「脱炭素まちづくりカレッジ」の体験（issue+design）
- 1545～1600 休憩 —— コーヒーブレイク

- 1600～1720 気候市民会議の多様な開催を考えるワークショップ・その2
- 1720～1730 閉会

- 会議終了後、ネットワーキングの時間を設けることを検討しています（任意参加）

説明

体験

考える

ライトな実施 or 本格実施にむけた機運を醸成したい 具体的なイメージ①



本格実施にむけて、地域の中で
仲間をつくりたい
そのためのイベントを行いたい

行政機関の中で、気候市民会議
についての認知度を増やしたい

ライトな実施 or 本格実施にむけた機運を醸成したい 具体的なイメージ②

本格的な気候市民会議を実施するイメージはわからないけれど…

自分の会社の脱炭素計画を考えてみたい
そのための入り口としてなにができる？

もっと社員一人一人が
当事者意識がもてる
ような研修をやってみ
たい



学校教育の中に
上手く取り入れることは
できないか？

自分のコミュニティで
何かをやってみたい

具体の方法論（気候変動問題以外も含めて…）

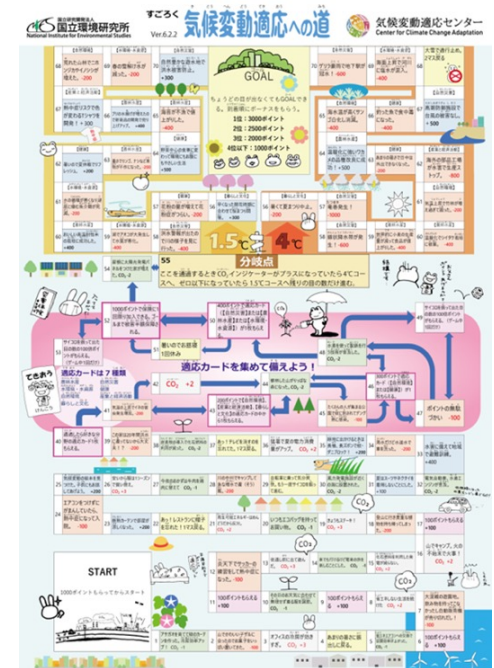


iPS細胞かるた



宇宙箱舟ワークショップ

すごろく気候変動適応への道



具体的方法論（気候変動問題以外も含めて…）



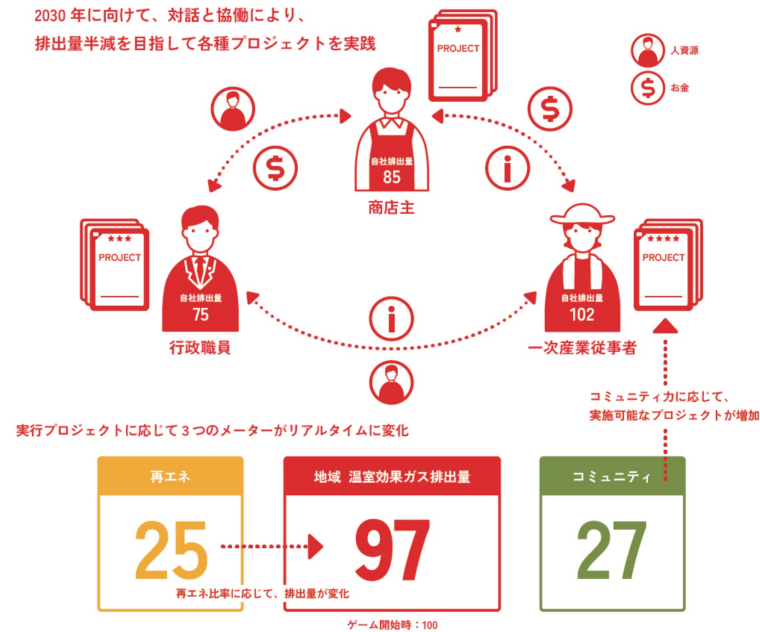
Democs：英国のシンクタンクが2001年頃に開発したカードゲーム形式のツールを元に作成された京都産業大学生命科学部（川上研究室）で開発されたカードツール



Moral-IT Deck 日本語版

具体の方法論（気候変動問題以外も含めて…）

本日は、こちらを体験します



脱炭素まちづくりカレッジ

<https://issueplusdesign.jp/climatechange/college/about/play/>

本日のスケジュール（再）

- 1330～1335 開催の挨拶（環境省 福嶋）
- 1335～1345 趣旨説明（大阪大 八木）
- 1345～1355 気候市民会議とは？を改めて（名古屋大 三上）
- 1355～1400 この後の進行について（大阪大 八木）

- 1400～1545 「脱炭素まちづくりカレッジ」の体験（issue+design）
- 1545～1600 休憩 —— コーヒーブレイク

- 1600～1720 気候市民会議の多様な開催を考えるワークショップ・その2
- 1720～1730 閉会

- 会議終了後、ネットワーキングの時間を設けることを検討しています（任意参加）

説明

体験

考える